

平成26年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
大谷教授	発生生物学Ⅰ	発生生物学Ⅰで学んだことについて
大谷教授	発生生物学Ⅱ	発生生物学Ⅱで学んだことについて
大谷教授	先天異常Ⅰ	先天異常Ⅰで学んだことについて
大谷教授	先天異常Ⅱ	先天異常Ⅱで学んだことについて
大谷教授	医生物学への数学・情報科学の応用	医生物学への数学・情報科学の応用で学んだことについて
安井教授	神経科学Ⅲ	神経科学Ⅲで学んだことについて
紫藤教授	応用医科学	高体温あるいは運動時の圧反射性の皮膚血流調節について(信州大学大学院 上條 儀一郎講師のセミナーから)
紫藤教授	生体病態学Ⅲ	ストレスによる昇圧反射に対するエストロゲンの抑制効果(奈良女子大学 森本 恵子 教授のセミナーから)
橋本准教授	内分泌・代謝学Ⅱ	「内分泌・代謝学Ⅱ」の講義を受けて学んだこと
廣田教授	生体機能測定学Ⅰ	今回受講した生体機能測定学Ⅰの講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、生体機能測定に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載して下さい。 どの講義についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教員名と講義のテーマを必ず明示願います。
廣田教授	医療のための光工学	今回受講した医療のための光工学の講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、医療のための光工学に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載して下さい。 どの講義についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教員名と講義のテーマを、必ずレポートの冒頭に明示願います。 ※添付するレポートのファイル名は 医療のための光工学(〇〇〇〇).doc と、〇〇〇〇の所に氏名を明記してください。 「医療のための」は省略しても構いません。 ファイルの属性は docxでも構いません。
土屋教授	細胞機能学Ⅰ	細胞機能学Ⅰで学んだことについて
浦野教授	基礎医科学	受講したセミナーのうち一つについて、「A4 一枚」でセミナー概要、疑問および感想をまとめて浦野(turano@med.shimane-u.ac.jp)までメールで提出していただきたいと思います。
浦野教授	細胞生物学Ⅰ	
原田教授	基礎免疫学Ⅰ	樹状細胞の機能と応用について
原田教授	腫瘍免疫学Ⅰ	免疫チェックポイント抗体による癌治療について
原田教授	移植免疫学Ⅰ	免疫寛容の誘導について
原田教授	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	「機能性物質・食品の医療応用と環境影響」の講義を受けて学んだこと
竹下教授	中毒学Ⅰ	中毒学Ⅰで学んだこと
並河教授	臓器病態学Ⅱ	臓器病態学で学んだこと
丸山教授	器官系の病態構造Ⅱ	「器官系の病態構造Ⅱ」を学んだなかで、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持ったことがら、またはテーマを選び、それについて記しなさい。
丸山教授	臨床腫瘍学Ⅴ	「臨床腫瘍学Ⅴ」を学んだなかで、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持ったことがら、またはテーマを選び、それについて記しなさい。
嘉数准教授	発癌Ⅰ	発癌Ⅰの講義のテーマから任意に選び(一つでも複数をもとめてでもどちらでも可)、そのテーマから学んだこと、考察したことを課題とします。 形式:1枚目に課題名、所属講座、氏名を、2枚目以降に課題について記述する。

平成26年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
嘉数准教授	環境医学Ⅱ	環境医学Ⅱの講義のテーマから任意に選び(一つでも複数をもとめてでもどちらも可)、そのテーマから学んだこと、考察したことを課題とします。 形式:1枚目に課題名、所属講座、氏名を、2枚目以降に課題について記述する。
井上准教授	環境医学Ⅰ	環境医学に関することから1~2つを取り上げ、その現状における内容と今後更に行っていくべきと考える示唆をレポートしてください。
津本教授	医学・医療情報学Ⅰ	病院情報システムについて
吉田教授	老化Ⅰ	老化とは何か」を科学(医学)的な観点から論ぜよ。
吉田教授	分子機能学Ⅰ	「分子機能」について本課程で学んだ事をまとめよ。
杉本教授	内分泌・代謝学Ⅰ	1. 先天代謝異常の病因と病態について記せ。(小児科学 山口教授) 2. 内分泌学の観点から排卵、受精、着床現象について記せ。 (婦人科 金崎講師) 3. カルシウム・骨代謝調節機構について記せ。(内科学第一 杉本教授) 4. 生活習慣病と骨粗鬆症の病態について記せ。(内科学第一 山口准教授)
木下教授	器官系の病態構造Ⅰ	好酸球形消化管疾患の病態、診断、治療について述べよ
木下教授	臨床腫瘍学Ⅰ	Zollinger-Ellison 症候群の病態、診断、治療につて述べよ
山口修平教授	臨床医科学	「認知症の薬物治療に関して、開発中のものを含めて記載して下さい」 (Describe the pharmaceutical therapies of dementia including those under development)
磯部教授	臨床腫瘍学総論	以下の6の課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ①がんのチーム医療 ②がんの臨床試験 ③オンコロジ・エマーゼンシー ④分子標的治療薬 ⑤がんの副作用対策としてのPeg-GCSF ⑥がんの免疫療法
磯部教授	地域がん治療学	以下の4つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① がん検診 ② がん医療の病診連携 ③ 地域に求められているがん医療とは？ ④ がんプロフェッショナル養成基盤推進プランとは
磯部教授	がん医療社会学	以下の5つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① 高齢者がん医療、がん化学療法、外科療法の適応など ② がんの終末期医療 ③ がん医療と医療経済 ④ がんの将来動向 ⑤ がん登録について
磯部教授	臓器病態学Ⅲ	以下の5つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① 吸入抗コリン薬 ② 肺炎球菌ワクチンについて ③ COPDの併存症について ④ 禁煙治療について ⑤ 肺癌の分子標的治療薬について
森田教授	臨床免疫学Ⅱ	臨床免疫学に関わるテーマでレポートをまとめてください
山口清次教授	分子病態学Ⅱ	遺伝子変異の種類とgenotype / phenotype correlation について述べなさい (Types of gene mutation, and genotype / phenotype correlation) 山口清次先生(sejiyam@med.shimane-u.ac.jp)までと cc で ped@med.shimane-u.ac.jp まで E-mailにファイルを添付して提出してください。
田島教授	腫瘍生物学Ⅰ	別紙のとおり(レポートの様式指定有り) あなたが最も興味のある消化器がんに対する分子標的療法について記載してください(A4紙1枚)

平成26年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
織田教授	組織・器官系の構造と機能Ⅱ	心臓の構造・機能の関連について、収縮能と拡張能、右心機能と左心機能に分けて述べよ。(添付ファイル有)
織田教授	臓器病態学Ⅰ	重症心不全に対する治療法について、薬物、人工心臓、心移植に分けて述べよ。(添付ファイル有)
内尾教授	組織・器官系の構造と機能Ⅰ	組織・器官系の構造と機能Ⅰについて学んだこと
内尾教授	理工医学のための生物材料学	理工医学のための生物材料学について学んだこと
秋山教授	腫瘍生物学Ⅱ	各自が最近読まれた研究論文(original article)のなかの1論文について、 ①ジャーナル雑誌、年、巻、頁、論文タイトルを記載のうえ、 ②論文を読んで、今後該当分野での各自の考える研究課題、今後明らかにすべき課題について、 ③A4 1~2枚(800字以内)でまとめる。
永井准教授	神経科学Ⅰ	下記の(1)あるいは(2)のどちらか一つについてレポート(A4 1枚)を提出すること。 “Please submit a report about whether either (1) or (2).” (1)これまでに参加したセミナーや講義などで、研究の助けになった内容。 “About the helpful contents for your research in the lectures which you had registered.” (2)これまでの研究の進行状況。 “The progress of your research.”
椎名教授	細胞内情報制御学Ⅰ	腫瘍増殖に関連する細胞内情報経路に関して、調べた文献を呈示しそれをもとに述べなさい。
堀口教授	生体病態学Ⅰ	精神科で学んだこと
川内教授	臨床腫瘍学Ⅳ	分子標的薬の種類と臨床応用 molecular targetting anticancer drugs and its clinical usage
川内教授	臨床免疫学Ⅰ	アナフィラキシーショックの病態と治療、pathogenesis and treatment of anaphylactic shock
大平教授	老化Ⅱ	老化の機序について
兒玉准教授	生体病態学Ⅱ	抗体治療:所属科での臨床応用について
北垣教授	臨床腫瘍学Ⅲ	臨床腫瘍学に関連する、あなたが得た最近の知見を述べなさい。ただし、出典文献名も記載すること。
関根教授	細胞生物学Ⅱ	口腔扁平上皮癌の細胞診断学的特徴を簡潔にまとめよ。 Describe the cytological features of oral squamous cell carcinoma briefly.
関根教授	口腔腫瘍学	口腔扁平上皮癌患者における食道癌併発の頻度についてまとめよ。 Describe the frequency of esophageal carcinoma in oral cancer patients.
齊藤教授	緩和ケア学	昨年と同じテーマ(緩和ケア学に関わる研究実績と今後の研究展望)
齊藤教授	神経科学Ⅱ	昨年と同じテーマ(神経科学に関わる研究実績と今後の研究展望)
長井教授	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	今年度受講した上記講義の中で、自分にとって興味深いと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、臨床・社会・環境医学の中で高度情報学がどのように利用されているかに力点をおいて説明し、講義により今後医学情報の活用に関する認識がどのように変わったか、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載かわかるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
熊倉教授	感染症学Ⅰ	インフルエンザの予防と診断・治療について
熊倉教授	地域医療学Ⅰ	地域における医師確保対策について
熊倉教授	総合診療学Ⅰ	総合診療とは何か
石橋教授	総合診療学Ⅱ	地域で異なる総合医像: 貴方が求める総合医像と育成について
小林教授	細胞間情報伝達学Ⅱ	Criticism of an original paper on endocrine disease field (the copy (PDF) of the paper should be attached) (A4 size less than 2 sheets)

平成26年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
直良教授	薬物動態学 I	薬物動態の変動因子に関する論文を1つ取り上げ、その内容を批判的にまとめなさい (A4 1枚)。レポートはメール添付で提出し、論文のPDFを添付すること。 添付ファイル有り
鈴宮教授	腫瘍生物学Ⅲ	細胞レベルおよび遺伝子レベルのがんの病態の特徴
鈴宮教授	臨床腫瘍学Ⅵ	各専門領域に対する分子標的薬を含む各種抗がん薬の理論と実際
中村教授	知的財産と社会連携	知的財産と社会連携で学び特に参考になったこと